

2018年度 西ブロック都市協会審判トレセンの開催をして

姫路サッカー協会 審判委員会
強化部 藤田 和昭

11月25日に淳心学院にてU16（高校1年生）向けの西ブロック都市協会審判トレセンを姫路・西播磨・但馬・東播磨協会合同で開催しました。

受講生40人の参加を頂き、メインテーマは「副審に必要な準備と実践」とし、高校生は副審をする機会が多いですか、少しでも興味を持って頂こうとこのテーマにしました。

9:00からスタートし最初のセッション「副審の歴史と任務について」現役Jリーグ副審をされている大塚晴弘氏より講義をして頂きました。

次に、第9条ボールインプレーおよびボールアウトオブプレーと第11条オフサイドのグループディスカッションをおこない、ダイヤモンドナイン形式で9項目のキーワードを重要な項目順に並べてもらいグループごとに発表をしてもらいました。

午前の部の最後のセッションで、Jリーグ映像を使いオフサイドテストをしました。問題が12問ありトータル正解率は54%でした。

午後からはグラウンドにて副審に必要な動きやシグナル、プラクティカルトレーニングをおこないました。

受講生に副審のシグナルと動きは始めにいつも通りにしてもらい、次に見本を見せ、アドバイスをしました。その結果、見違えるようにきれいなシグナルと動きになりました。

プラクティカルトレーニングは「ライン付近の判断」「攻防の中からのオフサイド判断」をおこないました。

最後は実技オフサイドテストをしました。映像を撮り分析もおこないました。受講生は見極めの難しさを感じられたと思います。

受講生に、アンケートを書いてもらい国際審判員、1級審判員を目指す回答が3人ありました。また、2級審判員も目指す回答も3人ありました。

とても楽しく充実したトレセンになり今後とも上級を目指す人、審判に興味を持ってもらえるようにいろいろな研修会を開催していこうと思います。

